

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス いと		公表日		令和 7 年 6 月 30 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・目的に合わせた部屋がある。【余暇室・訓練室（運動スペース）・作業部屋。調理室（おやつ）】作業室は個別スペースがあります。	・今後も個々に合わせたスペースや、活動に合わせたスペースを整えていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用人数10名に対する人員配置基準（児童発達支援管理責任者1名、児童指導員と保育士合わせて2名以上の配置、：内1人には常勤）以上のスタッフが常勤しています。	・活動によりスタッフを増員して、児童が安全に過ごせるようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・各部屋ごとに用途別になっている。また視覚的にもわかりやすく、過ごしやすい環境を整えています。	・2階という構造上バリアフリー化は難しい。安全面には十分注意いたします。活動ごとに配置などを変更し安全に活動できるよう工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日清掃時には消毒をおこない清潔を心掛けています。	・引き続き、心地よく過ごせる環境を整え安心、安全に過ごせるように対応していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・余暇室は小集団空間、大集団空間、クールダウン空間、パソコン空間などコーナー作りを工夫してそれぞれが落ち着けるよう構造化している。また作業室はそれぞれの空間に仕切り集中して取り組めるよう配慮しています。	・それぞれに安心できる空間づくりを常に考えていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・朝礼、夕礼にて子供たちの様子を皆で共有しあい気づきや課題に対しスタッフが意見を出し合い、共通理解ができるよう心掛けています。	・スタッフ間でコミュニケーションを図りながら、チームとして子供たちの支援に関わり成長に結びつけていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・スタッフ全員で周知し、業務改善に繋げている。 ・保護者へのアンケート、スタッフへのアンケートを実施し結果及び改善点をHPで公表している。	・様々な意見をスタッフ間で共有し合い、運営に活かしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・朝、夕のミーティング・月1のスタッフ会議・毎月の勉強会また必要に応じ、管理者との意見のすり合わせなど行い業務改善に注力しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・第3者評価は受けていません。	・今後の課題	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・事業所内での研修の他、外部研修にも積極的に参加しスタッフそれぞれのスキルアップに繋げています。	・外部研修で学んだことを事業所内で報告し合うことで、全体のスキルアップに繋がるよう取り組んでいます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・保護者会にて説明をさせていただいたり、各関連機関へも配布させていただきました。HPにも公表させて頂いています。	・新しいスタッフへも共有し、事業所での支援の方向性を周知し合いました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・保護者や関連機関と情報交換・共有しスタッフ間でもアセスメントを行いニーズの把握をしています。	・常に「今」のニーズを意識することでタイミングよく支援に繋がっていきたくと思っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・日々の話し合いにより個々に応じた支援の提供を考えています。また個別計画書を作成する前には、スタッフ間でモニタリングを行い検討、立案できるよう心掛けています。	・引き続き、より良い支援ができるようお休みの職員へも情報の共有をし、統一した支援ができるよう配慮していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・個別計画書が変更になった場合や更新された場合など、都度のミーティングで情報共有を行い共通認識できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・学校での評価や外部機関での検査結果も参考に個別支援計画の作成に活かしています。 ・保護者様から頂いた情報や日常の行動観察なども踏まえながら個別支援計画作成をしています。	フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを組み合わせ、よりこどもの状態を正確に把握できるよう努めています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ガイドラインに沿って必要な目標の設定を行っています。 ・5領域に関する具体的な支援内容などは作成時にスタッフ間で話し合い適切な支援内容を設定しています。	・引き続きより良い支援ができるようにスタッフ間で共有しながら作成させていただきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・スタッフ全員の意見や情報を出し合ったのち、その月担当のスタッフが中心となりチームとして立案しています。	・色々アンテナを張り、事業所のコンセプトを元に立案できるよう取り組んでいきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・作業内容に関しては、都度の振り返りを行い個々の成長に応じた内容を提案しています。 ・子供たちが意見を出し合って提案された活動なども組み込んで、固定化しないよう工夫しています。	・事業所のコンセプトをもとに、日々の活動や作業に取り組んでいます。日中、作業日が多くなっていますが、学校休日や長期休暇中には日頃できない活動を取り入れながら色々な体験ができる場を提供させていただきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・個々のニーズを考慮し作業内容を立案しています。またグループ活動や集団での活動なども目的を持って取り組んでいます。	・今後も個々の課題・集団での課題を考慮し立案していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝会、学校からの申し送り（送迎後）、夕会などで子どもたちの様子をスタッフ間で共有し、支援方法や配慮点を確認しあっています。	・学校からの申し送り、作業の様子、フリータイムの様子、保護者様からの情報などは常にスタッフ間で共有し、これからも細かな振り返り、アセスメントをし支援の検証、改善に務めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・終業時は送迎の関係もあり保護者様からの情報交換のみとなっていますが、翌日の朝ミーティングの際、前日の振り返りや本日の予定など話し合い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・児童一人一人の様子について毎日振り返りをおこないスタッフ間で共有後、業務日誌に記録をしています。	・日々の記録をすることで、個々の成長やニーズを把握し支援プランの策定や調整に役立てていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・スタッフ間で定期的なモニタリングを行い、評価見直しを行っています。	・個別計画書のモニタリングだけでなく、作業評価モニタリングも行い、都度の見直しができるように務めている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		・自立支援の為の作業に趣をおいている。また学校休日には多様な体験の機会を提供しています。長期休暇中は就労体験や見学を積極的にに行い、地域交流を図れるように取り組んでいます。	・子どもが主体で参画できる活動も取り入れていき、自分のしたいことを見つけれように今後も取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・ティータイム時は毎回100円自分のお財布に入金されます。お金を貯めていく子、考えて使う子と自己選択、自己決定の場が毎回あります。 ・長期休暇イベントなどは子ども間で話し合い、したいこと、行きたい場所などを決めています	・自分の意見が言い合える環境を作っていきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	・スタッフ間で話し合ったお子様の様子が保護者様や担当者会議に出席されている皆様にきちんとお伝えできるよう準備していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・他機関と連携できる体制は整えています。	・積極的に連携していきたいと考えています。ご相談下さい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・保護者様への事前確認を行ったり、学校行事計画の共有を行ったりしています。下校時間の変更など、学校の先生からの知らせを受けることができトラブル回避に繋がっています。	・今後も学校との連絡調整をし共有できるよう努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	・利用対象児童が小学校高学年の為、保育所・幼稚園との情報共有はされていません。	・必要に応じて児童発達支援事業所等との情報共有はおこなっていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・まだ対象となる子どもがいないが、今後は情報提供ができればと思います。	・今後おこなっていく予定です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	・児童発達支援センターとの連携ではありませんが、専門的な知識や技術を学べる勉強会に参加しています。	・機会を設けていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・児童クラブや児童館との交流は現在ありません。 ・就労事業所や関連会社の高齢者事業所との交流はしています。	・小学校高学年～高校生を対象とした事業所の為、児童館や児童クラブとの交流より地区の就労事業所や関連会社の高齢者事業所との活動に趣をおきたいと考えています。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。	・今後も他事業所や市とも情報共有及び連携を図っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時に日々の様子をお伝えさせていただいたり、SNSで動画や写真を共有させていただき、お子様の成長を一緒に見守っていただいています。	・子ども達の成長を一緒に見守れるよう、取り組んでいます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・個別には対応させていただいているが、研修などは現状行われていません。	・今後保護者様も参加できる研修なども検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明させていただいております。支援プログラムについては、座談会の時に再度お伝えさせていただきました。	・今後も利用者負担がある際には都度連絡させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・都度ニーズが引き出せるよう、利用児童、保護者様との対話を重視させていただいています。	・利用児童及び保護者様からの要望があったことを優先に双方の利益を踏まえたうえで、計画を考えていきます。また丁寧な説明を心掛けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別に面談日させていただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・個別に面談させていただき、適宜対応させてもらっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	・年2回の座談会を開催させていただいています。 ・きょうだいに参加できるイベントは現在なされていません。	・毎年6月、12月に保護者会を開催し、スタッフ、及び保護者様同士の交流の機会を設けています。きょうだい同士の交流など今夏、開催を予定しています。ぜひ参加して下さい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情受付、解決担当は重要事項に記載し、契約時に説明させていただいております。	・相談しやすい関係性を作れるよう日々の対話を大事にし、相談があった際は迅速な対応を心掛けていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	・行事予定は毎月発行しています。活動の様子は個別ラインにて発信させていただいていましたが、HPは定期的に更新できていません。	・定期的な発信ができるよう体制を整えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報が記載された書類はスタッフルームにて厳重に保管しています。また名前が書かれたものに関してはメモ類も全部シュレッター処理しています。	・今後もスタッフ一同、十分注意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・ハンドスケジュールやコミュニケーションカードを準備し、個々に応じた自己発信できるツールを常に模索しています。	・細やかなアセスメントを心掛け、意思疎通できるツールを準備していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・地域住民を招待する行事はおこなっていませんが、関連会社の高齢者事業所との交流は今年度より実施しています。	・交流の場を広げられるよう留意していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・玄関の所に提示しております。	・玄関の所に提示していますが、マニュアルの周知はできていません。今後の課題です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・昨年度の避難訓練にて緊急避難時の保護者連絡において、一斉連絡方法が整ってなかったため、R7年6月の座談会にて相談させていただきました。	・今期は緊急避難時の一斉連絡方法が整いました。避難訓練の際にはご協力の程、よろしくお願いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約の際に保護者様と共有させていただきました。必要に応じて聞き取りもおこなっていきます。	・必要に応じて対応していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	—	—	・現在食物アレルギー対象児童はいません。	・医師からの指示書があれば共有させていただければと思います。また必要に応じて対応させていただきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、計画に沿って研修や訓練を行っています。	・スタッフ間で話し合い、これからも必要な訓練を実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・安全計画は作成していますが、それに基づく取り組みについては周知していません。	・ご家族様への周知はできていませんでした。今後の課題として取り組んでいます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリとした事例があった場合、ヒヤリハットとして報告し、スタッフで共有しています。 ・朝礼やスタッフミーティングの際共有し、再発防止案を話し合っています。	・ヒヤリハットを検証することで、事故が未然に防げるよう、今後も留意していきます。

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	・不適切な関りとは何かを常に意識できるよう、勉強会を重ねています。 ・日々の小さな気づきを大事にしスタッフ間で話しあえるよう心掛けています。	・虐待や身体拘束の事務所内勉強会はもちろん、機会をみつけ外部研修への参加もし、日頃から権利擁護にも意識してスタッフ間で話しあえるよう心掛けていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	・現在、子供たちの安全性を留意し玄関へ鍵をかけていただいております。鍵をかけている時間がわかるよう書類上に記載し残しています。	